



本 日 第2178回 2015年12月5日(土) No. 2063

本日のプログラム Today's Program

点 鐘

ロータリーソング 「事仕の理想」

留学生交流会

担当45周年実行委員会

於 雅味 尾張旭市印場元町

前 回 第2177回 2015年12月4日(金) 記 録

○斉 唱：「君が代」・「奉仕の理想」 「旅愁」

○ゲスト：2015年度 米山奨学生

サギアンポーニット ナティニーさん

出席者：会員21名中16名出席 出席率76.19%

前々回補正出席率 11月20日分95.24%

会長あいさつ 古橋エツ子

今年も最後の月となりました。また、会長として半年目に入りアツという間の感です。就任までは大丈夫か？という不安な気持ちが大きかったのですが、例会も、地域での行事なども、バタバタと過ぎて行きゆっくりと考える時間がないまま皆さんに支えていただきながら何とかお役目を果たしていることに感謝しています。2015～2016年度には、2760地区に女性の会長が4人と地区副幹事が1人と女性が増えました。そこで、1月には5人集まって「半年間の反省とこれからの半年間の抱負を語る会」をしようとして新年早々に予定しています。後半の半年は、45周年記念・記念講演会・家族旅行・ソウル国際大会など盛り沢山ですから、気持ちを引き締めて迎えたいと思います。

おめでとう

○結婚記念日祝福：

12月 5日 舟橋 龍秀君

○誕生日祝福：

12月17日 丹羽 敏行君

12月25日 桜井 雅博君ご夫人 郁子様



△結婚の舟橋君（右）



△誕生日の丹羽君（右）

幹事報告

- ・本日の会合：年次総会 第9理事役員会
- ・次回の例会：明日 5日 留学生交流会 於 雅味 17:30点鐘
- ・例会変更のお知らせ：掲示板をご覧ください。

ニコボックス

○すっかり忘れていた誕生日を祝っていただいて、ありがとうございました。今は新しいコンピュータの製作に取り組んでいます。 丹羽 敏行君

○家内の誕生日を祝っていただき。 桜井 雅博君

○結婚記念日を祝っていただき。 舟橋 龍秀君

○ナティニーさん、ようこそ。急にさむくなりましたから、風邪に気をつけて下さいね。 古橋エツ子君

○ギャップさん、ようこそ。日本の12月はクリスマスや新年に向けての行事で、みんなが忙しくしていますが、タイではどうですか。 丹羽 敏行君

○富田さんの卓話を楽しみにしています。

飯田 幸雄君、菊田 利昭君

病氣予防と治療月間

	12月18日(金)	12月25日(金)	2016年1月1日(金)	1月 8日(金)
例 会 予 定	卓話担当者：井田 武憲君 卓話者：尾張旭吟剣詩舞道連盟 会長・吼山流詩吟道愛知県地区連合 会 会長 寺坂 保夫様 演 題：「伝統文化・詩吟の 継承」	定款第6条第一節により 休 会	定款第6条第一節により 休 会	卓話担当者：プログラム委員会 卓話者：尾張旭市長 水野 義則様 加藤 清久副会長 森井 晴生幹事 演 題：「新年の抱負」

○11月21日は長女の結婚式でした。花嫁の父の気持ちを存分に味わいました。クラブより祝電をいただきました。ありがとうございました。 山田 直樹君
 ○丹羽先生、尾張旭市民展（写真）で市長賞受賞、おめでとうございます。 古橋エツ子君、山田 直樹君
 ○早いもので本年も師走になりました。そんな中、娘が子供をつれて里帰りしてくれております。うれしいもんですね。 森井 晴生君
 ○師走の候、皆様、おかげに気をつけましょう。 加藤 清久君
 ○先日のIMは久しぶりに有意義な一日でした。お世話になった皆様にお礼申し上げます。 丹羽 敏行君
 ○今年もあと少し、忘年会での飲み過ぎに注意しましょう 舟橋 龍秀君
 ○富田さん、卵をありがとうございました。 加藤 清久君
 ○富田さん、精力剤、ありがとうございます。 古橋 裕志君

バナー交換



2015年11月25日

RI第2660地区
大阪フレンドRC

舟橋 龍秀君

第9回理事役員会報告

- 日時 2015年12月4日（金）13:40～
 場所 尾張旭市商工会館内 第一会議室
 議題 1) 留学生交流会について
 (箕輪45周年実行委員長)
 了承された。
 2) サッカーメダル贈呈と出席について
 (井田青少年奉仕委員長)
 了承された。
 3) 次年度地区委員会推薦について
 (古橋エツ子会長)
 承認された。
 4) 年末年始について (森井幹事)
 12月26日(土)～2016年1月3日(日)まで

第46回尾張旭市商工会珠算大会報告

日時 2015年12月6日（日）
 場所 スカイワードあさひ
 出席 加藤 清久副会長
 尾張旭ロータリークラブ会長賞
 優勝 坂野 大樹 様
 準優勝 黒柳 瑛 様
 第3位 井口 琴葉 様

当日の参加者は227名でした。
 青少年委員会

卓 話

「人生あれこれ」

富田 晃

私は昭和6年朝鮮の京城で生まれ、市内の桜ヶ丘小学校へ入学、中学2年で終戦を迎えました。



当時の教育は、日本と遜色ないものだったと記憶しています。

昭和20年8月15日、日本は戦争に敗れ、京城から釜山経由で帰国することになりました。

この間、敗戦を境に立場ががらりと変わり、日本人家族の治安がかなり悪くなりました。

特に、終戦後の2～3日が最もひどかったと記憶しています。

中学2年生の多感な私には、国が敗れるということはこんなに惨めなものかと思いつくづく感じた次第です。

昨今の我国の防衛問題と絡めても、最低限の国の防衛は必要だと感じている次第です。

さて、引き上げて名古屋駅に着いたとき、なんと日本は良い国であろうと思いました。

当時、朝鮮、台湾等周辺諸国からの引き上げは総勢600万人余になりますが、貨物列車や貨物船による帰国となり非常に惨めなものでした。

そこから、現在の尾張旭市平子町にて開拓生活が始まるわけですが、上を見上げると屋根から星が見える状況で非常に厳しいものでした。

今、静かに振り返ると、開拓は、最低20年、年月をかけないものにならないと感じています。

そんな体験から、人間の基本は、何でもいから腹一杯に食べることにつきると考えています。

そんな意味で、現在の日本の食料事情を考えると、人間1年間で米1石、一億人とする1億石が必要となります。

日本の農業、最近、TPPで話題になっていますが、充分、競争できる実力を持っていると考えます。

50年前は、1反5俵のお米を1人が22～27日の手間をかけましたが、現在では8時間程度にまで短縮され、品種改良の有意差も考えると、諸外国に充分対抗できると考えています。

また、大規模・集約化されることによっても競争力を補填することができます。

最後になりましたが、経験上、食料の自給、1億人で1億石、最低限の日本の防備は必要であるということを申しあげ卓話を終わることにします。